

町政に問う 一般質問

Q 海士の自然を生かした保育環境を整備し、子育て世代の移住促進を。

A 将来を見据えた環境整備について、今後慶照学園から要望が出てくれば、協議する考えだ。



扇谷光恵 議員

(問) 今、海士町では就学前の児童が125名、その内入園児が93名、在宅児が32名いる。児童数の増加により保育園が今年度増築されたが、逆に園庭や園の畑が狭くなり、自然に囲まれた園でありながら、自然に触れる保育が減少して行くのではないかと。そこで周りの山林を購入して環境を整え、子供たちが春夏秋冬を感じ、海士を巣立った時に海士を思い出し帰りたいと思えるような子育てができたかと強く思う。海士の自然を生かした子育て支援を打ち出し、子育て世

代の親子の移住を促進したらよいと思う。先日視察研修に行き、教育とは自然との関わり合い、地域との関わりだということ強く感じた。町長の保育に対する今後のビジョンを伺う。

(町長) 若い人が海士町に定住して児童数が増え、急ぐのは待機児童の解消だということ、今回園舎を拡げた。年々児童が増えつつある状況は嬉しく頼もしい限りで、海士町が平成16年に合併をしない宣言をしてから色々取り組んできたことの一つの成果だ。

ご指摘のとおり、園舎には一定の余裕ができたが、園庭はその分狭くなったのは事実だ。しかし、保育に支障のない最小限の面積は確保できている。

保育園周辺の山林を購入して園児が遊べる環境を整えるという提案だが、親子のふれ合いや地域とのふれ合いのためには、保育園周辺だけに目を向けるのではなく、年寄り子ども、みんなが一緒に遊べ、交流できる場を考える方がベターではないかと思う。

日々の保育は、法に基づき専門である社会福祉法人慶照学園(けいしょう保育園)に委託しており、これまで海士町の保育を支えてきた慶照学園の経営理念や運営方針を私は尊重している。将来を見据えた環境整備について、今後慶照学園から要望が出てくれば、協議する考えだ。

Q 電力の全面自由化の中、海士町のエネルギー政策について問う。

A 離島では、エネルギー自給に向け、再生可能エネルギー導入が今後の重要な課題となる。



杵築泰久 議員

(問) 昨年西ノ島変電所で、ハイブリッド蓄電システムの実証事業が始まり、今年は崎地区の風力発電建設がスタートする。また、4月から電力の全面自由化が始まる。本町を取り巻く電力事情が大きく変わる中、①エネルギーの自給に向け再生可能エネルギー導入に取り組むと言うが、どんな構想があるのか。また自治体

よる発電売電の計画はあるか。

②町施設の建設や改築では、省エネ節電対策が大変重要で、設計にあたってはエネルギーや環境を考える部署や人が必要と思うがどう考えるか。

③家庭ゴミや漂着ゴミが資源として活用できれば、環境問題の解決にも繋がる。廃棄物バイオマス発電の研究についてどう考えるか。

(町長) ①エネルギー自給に向けた再生可能エネルギーの取り組みが、離島では今後重要な課題になる。本町では安定的な太陽光発電が有効であり、開発センター、福来の里や診療所などに太陽光を設置した。安心して住み続けるためには、災害時の電力が一番心配だ。現在電気は隠岐の島町で発電し、西ノ島町を経由して海士町に来ている。中国電力はこれを2ルート化する計画で、隠岐の島町から直接海士町の潮早に上げるルートだ。また4月から中電社員が海士町に1名駐在する。そうなればいかなる災害時にも対応できて非常に心強い。



議会 だより

3月定例議会

第520回3月定例議会が3月8日から15日までの8日間の日程で開催され、町長施政方針の説明と一般質問のほか、次の諸議案が上程され、慎重審議の結果、原案どおり承認可決されました。

- ・平成27年度補正予算 7件
- ・平成28年度当初予算 7件
- ・条例の制定 3件
- ・条例の改正 8件
- ・公の施設の指定管理者の指定 1件
- ・辺地過疎計画の変更等 3件
- ・人事案件 2件
- ・議員提案 2件

承認可決された主な内容は、次のとおりです。

■補正予算

【一般会計】平成27年度海士町一般会計予算に833万7千円を追加し、予算総額49億4,809万9千円とする。

【特別会計】

- ・平成27年度国保事業勘定予算に336万5千円を追加し、予算総額4億1,267万7千円とする。
- ・平成27年度国保診療施設勘定予算に285万円を追加し、予算総額を4億5,487万円とする。
- ・平成27年度国保歯科診療施設勘定予算に114万円を追加し、予算総額を5,240万7千円とする。
- ・平成27年度簡易水道予算に1千円追加し、予算総額を1億7,981万7千円とする。
- ・平成27年度下水道予算に126万7千円を追加し、予算総額3億803万8千円とする。
- ・平成27年度後期高齢者医療予算を13万円減額し、予算総額8,388万8千円とする。

■条例の制定

- ・海士町役場庁舎建設基金条例
- ・海士町行政不服審査会条例
- ・海士町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例

■条例の一部改正

- ・海士町情報公開条例の一部改正
- ・海士町個人情報保護条例の一部改正
- ・職員の給与に関する条例の一部改正

- ・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・海士町固定資産評価審査委員会条例の一部改正
- ・海士町税条例等の一部改正
- ・海士町町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例の一部改正
- ・海士町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

■公の施設の指定管理者の指定

- ・総合交流施設
海士町漁業協同組合 代表理事組合長 亀谷 潔
平成28年4月1日～平成33年3月31日

■辺地計画・過疎計画の変更等

- ・海士町辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
- ・海士町過疎地域自立促進計画の変更
(平成22年度～平成27年度)
- ・海士町過疎地域自立促進計画の策定
(平成28年度～平成32年度)

■人事案件

- ・海士町教育委員会委員の任命
海士町豊田 青木 豊美氏
- ・人権擁護委員の推薦
海士町菱浦 岡本 洋子氏

■議員提案

- ・議会の委任による専決処分事項の指定についての一部改正
- ・海士町議会会議規則の一部改正

【3月臨時議会】

第521回3月臨時議会が3月31日に開催され、原案どおり承認可決されました。

■建設工事請負契約

▼港整備交付金事業

・諏訪港-2m物揚場整備工事

(契約の方法)

指名競争入札による契約

(契約の金額)

5940万円

(契約の相手)

飯古建設有限会社

代表取締役 田仲寿夫

(工期) 平成28年8月25日

▼辺地債事業

・島食の寺子屋整備建築工事

(契約の方法)

指名競争入札による契約

(契約の金額)

1億2474万円

(契約の相手)

有限会社 北峯工務店

代表取締役 北峯一郎

(工期) 平成28年8月31日



の創出に繋げたい。

また、サンライズうづか
に続く新規の集落営農組
織の設立も必要だ。生業と
して成り立つ組織体を、複
数育成することなどを含
めて、これまでの個々の生
産者のみに頼る地産地消
から、組織体による地産地
消を展開していく必要が
ある。当然JAとの連携も
重要だ。

手数料25%については、
生産者は現物を庭先に置
くだけで、後の集荷・梱包・
値付けは全てしゃん山が
して店頭販売しており、決
して高いとは思わない。
しゃん山は、(株)ふるさと
海士が指定管理者として
運営をまかされており、手
数料の額は受託者の裁量
の問題だ。手数料を若干下
げたとしても、生産者の大
幅な収入増加や新規参入
者の増加に直結するもの
でもない。



～自治功労者表彰～

高松照佳 議員
(議員在職 27年以上)



去る2月23日、島根県町村議会議長会定期総会にお
いて、高松照佳議員が、全国町村議会議長会長から自治
功労者表彰を受賞されました。

町村議会議員として、長きにわたり、地域の振興発展
と住民福祉の向上に尽された功績によるものです。

今後一層のご活躍を期待いたします。
誠におめでとうございます。

【隠岐広域連合議会】

2月定例会

(平成28年2月10日)

○条例案件10件

行政不服審査会条例等

○H27補正予算 2件

○H28当初予算 5件

3月臨時会

(平成28年3月25日)

○条例案件8件

職員の勤務時間に関する
条例の一部改正等

○H27補正予算 4件

【島前町村組合議会】

2月臨時会

(平成28年2月4日)

○職員の給与に関する条例
の一部改正

3月定例会

(平成28年3月29日)

○条例案件6件

職員の再任用に関する条
例等

○H27補正予算 1件

○H28当初予算 3件

活動日誌

3月

隠岐島前高校卒業式
全員協議会

議会運営委員会

海士町議会3月定例会

海士中学校卒業式

例月現金出納検査

海士小学校卒業式

福井小学校卒業式

海士町景観審議会

隠岐広域連合臨時議会

けいしよう保育園卒園式

島前町村組合定例議会

島根県町村議会議長会
正副会長会議

海士町議会3月臨時会

3月、4月は別れ・新しい
出会い！

高校を卒業し新しい環境
で夢を叶えるために島を離
れる人、転勤で移動する人、
その家族等々・・・
いつもながら感動的な別
れの季節の風物詩。

本年度の海士中の新入生
は9名、ここ数年間は生徒数
が減少傾向にあり、来年あた
りから島前高校2クラスを
維持するためには、地元生徒
と島外生の逆転現象が懸念
される。

早急に、小・中の島留学の
拡充が求められるのでは！

(松田修一 記)



- 4月
- 広報調査特別委員会
- 隠岐島前高校入学式
- 第31回隠岐島綱引大会
- 福井小学校入学式
- 海士小学校入学式
- 海士中学校入学式
- 隠岐神社春季大祭
- 保く高連携教育推進協議会
- 島前体育協会役員会
- 島後海士後鳥羽会総会
- 例月現金出納検査

編集後記



波多紀昭 議員

②節電対策は、海士中学校の工コ改修、隠岐開発総合センターの改修工事、海士小福井小の耐震工事において、LED照明や二重ガラス、木質化等を施す一方、町施設の省エネ診断も受け、配慮してきた。今後も、隠岐神社のリノベーションや島の寺子屋プロジェクト、ジオパーク拠点施設整備事業など、経営会議で情報を共有して連携を強化し、各課横断的に取り組んで更に効果を発揮できるようにする。

③ごみの資源活用の問題は担当課で検討したが、施設建設や維持管理の費用を考慮すると、採算が取れないと判断し、導入を見送った。今後、県や国の支援策など有利なものを見つけないが、再度検討して行きたい。

Q 島前高校のキャリア教育推進について問う。
A 情報化とグローバル化が急速に進み、「答えのない時代」を生きる子供たちのために、一層キャリア教育を充実させる。

(問)人口減少社会を生き抜く人材育成が、海士町の未来を左右する。愛郷心・起業家精神を教育の場で育むことは、地域の成長に欠かせない芯柱である。
島前高校の使命は、活力ある地域づくりに貢献する人材の育成にあり、様々な取り組みが評価され、国が新たに創設した「キャリア教育推進連携表彰」の優秀賞を受賞した。

(町長)「島づくりは人づくり」の観点から隠岐國学習センターを立ち上げ、非常に志の高いスタッフによる次元の高いキャリア教育の中で、地元の子ども達が地方創生について対話できるまでに成長してきている。課題解決型学習の導入により、自分たちの役割や未来を認識して、目的を持って進路を決めるようになる一方で、島前高校からでも希望する学校に進学できる事は、魅力化構想の成果である。

島前高校の、新たな価値観を創造できる人材の育成を支える①キャリア教育に期待する役割②高校魅力化事業による効果③島留学により島外生と一緒に学ぶメリットをどう捉えているかを問う。

Q 後継者対策等、今後のしゃん山の運営課題について問う。
A 個々の生産者に頼る地産地消から集落営農組織による地産地消へ。JAとの連携も強化する。

「島留学」で来た子ども達は、海士ファンの全国展開の貴重な戦力として、島前高校の看板を背負って頑張ってくれると思うし、それが大事だ。
情報化・グローバル化が急速に進み、価値観もめまぐるしく変わる「答えのない時代」だが、これまでやってきたことは間違いではないと思うし、今後も継続したい。



上田正子 議員

(問)しゃん山は、平成14年3月の創業以来、地産地消の拠点施設として関係者の努力により年々充実発展し、野菜や農産加工品で平成26年度2千3百万円余の売上高となつている。商品の品質も格段に向上している。しかし今後のしゃん山の運営については課題がある。
①生産者はオープン時80名であったが、現在は49名となり40%も減少している。しかも80歳代90歳代の人が多数いて、ここ数年で更に減少することが予想される。しゃん山の生産者の後継者確保対策について問う。
②しゃん山の商品価格が高いという消費者の声が多く聞かれるが、現在の手数料25%をいくらか引き下げることにより、価格の低下が図られ、そのことが生産者の手取り増に繋がり、新規参入者も増えるのではないか。

平成28年度から、農福連携事業により、福祉施設の通所利用者が農業生産活動に参加することで、介護を必要としない生涯現役の元気老人